

2025年6月16日

各 位

会 社 名 株式会社ファーマフーズ
代 表 者 名 代表取締役社長 金 武 祐
コ ー ド 番 号 2 9 2 9 (東 証 プ ラ イ ム)
問 合 せ 先 経営企画部部長 河 中 敏 弘
T E L 0 7 5 - 3 9 4 - 8 6 0 0

当社連結子会社における新工場建設及び 財務上の特約が付された金銭消費貸借契約の締結に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、連結子会社である明治薬品株式会社（以下、明治薬品）の新工場建設及び財務上の特約が付された金銭消費貸借契約の締結に関して決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当該子会社の概要

(1) 名称	明治薬品株式会社
(2) 所在地	富山県富山市三郷6番地
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 益田 和二郎
(4) 事業内容	医薬品、医薬部外品、医療用具、食料品（健康食品）、化粧品の製造及びその販売、輸出入
(5) 資本金	98 百万円
(6) 設立	1948 年 4 月 26 日
(7) 株主構成	株式会社ファーマフーズ 100%

2. 新工場の建設

(1) 新工場建設の理由

当社グループは、「ヘルスケアのリーディングカンパニー」を目指し、中期経営計画 2026「新価値創造 1 K プロジェクト」に取り組んでおります。2021 年 8 月に当社が明治薬品を完全子会社化して以降、同社は医薬品製造受託事業から医薬品メーカーへの進化を目指してまいりました。

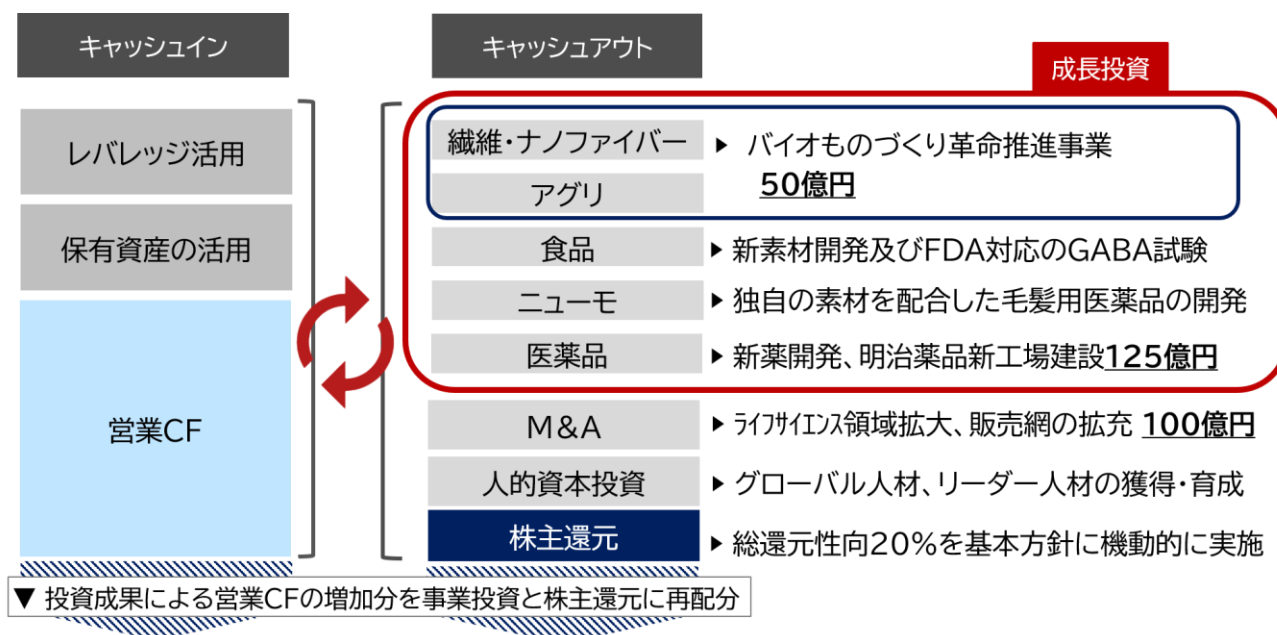
同社が医薬品製造で培ってきた品質と歴史を活かし、当社の研究及び販売リソースとのシナジーの結果、同社の売上高は 2021 年 5 月期の 5,335 百万円から 2024 年 7 月期の 14,151 百万円へと、3 年間で 2.7 倍へ成長いたしました。

明治薬品の最近 3 年間の経営成績			
決算期	2022 年 7 月期	2023 年 7 月期	2024 年 7 月期
売 上 高	8,923 百万円	14,108 百万円	14,151 百万円
経 常 利 益	△3,313 百万円	1,154 百万円	531 百万円
当 期 純 利 益	△3,355 百万円	1,309 百万円	153 百万円

特に自社ブランド製品の開発及び販売が成長に大きく寄与しております。「ラクトロン錠」、「てんらい清流錠」、「シボラナイト2」などの新規顧客獲得が好調に推移し、同社の定期顧客件数は2025年4月末時点において前期末と比べ2.9倍となりました。



当社グループは、さらなる成長を見据え、2024年7月期から今後5年間で300億円規模の挑戦的な投資への取組みを開始しております。



明治薬品では、125億円の本新工場建設を通じ、整腸、消化、尿トラブルなど、多くの方々が抱えるヘルスケアニーズに応えるための、医薬品、医薬部外品等の生産能力の強化を図ります。この投資を通じ、自社ブランド製品の販売拡大及び医薬品製造受託事業の拡大を図り、2030年7月期には、明治薬品は売上高約230億円を目指してまいります。

当社取締役会は、本工場建設が当社グループのビジョン、「ヘルスケアのリーディングカンパニー」を達成するための極めて重要な投資と捉え、その実施を決定いたしました。

(2) 新工場の概要

① 所在地	富山県富山市水橋金尾新 60 番 5
② 建物	延床面積 13,109 m ² 、鉄骨造地上 3 階建
③ 総投資額	建物、機械設備資金及びその諸費用 125 億円（予定）
④ 資金計画	借入により充当
⑤ 機械設備の概要	製剤工程、包装工程、液剤ラインの新設

(3) 今後の日程

① 取締役決議日	2025 年 6 月 16 日
② 着工予定	2026 年 7 月
③ 稼働予定	2028 年 7 月

3. 資金の借入

(1) 借入の理由

新工場建設のための資金調達目的に、財務上の特約が付された金銭消費貸借契約を締結する予定であります。

(2) 財務上の特約が付された金銭消費貸借契約の内容

① 契約締結予定日	2025 年 7 月下旬または 8 月上旬
② 相手方の属性	株式会社京都銀行をアレンジャーとするシンジケート団
③ 債務の元本	125 億円（最大）
④ 最終返済期限予定日	2038 年 10 月
⑤ 担保の内容	明治薬品が保有する土地及び建物（新工場含む）
⑥ 保証	法人保証人：株式会社ファーマフーズ

(3) 財務上の特約の内容（予定）

- ① 2025 年 7 月期決算以降、各年度の決算期の末日の報告書等における連結の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額を直前の決算期の末日における連結の貸借対照表における純資産の部の合計金額の 75%以上に維持すること。
- ② 2025 年 7 月期決算以降、各年度の決算期の末日の報告書等における明治薬品の単体の損益計算書に示される経常損益が 2 期連続して損失とならないようにすること。
- ③ 2025 年 7 月期決算以降、各年度の決算期の末日の報告書等における連結の損益計算書に示される経常損益が 2 期連続して損失とならないようにすること。

4. 今後の見通し

本工場建設及び本資金借入の実施が、当社の 2025 年 7 月期の業績及び 2026 年 7 月期の業績に与える影響は軽微ではありますが、今後新たに業績に重要な影響を及ぼす開示すべき事項が発生した場合は、速やかに開示いたします。

以上

<ご参考> 明治薬品の新工場完成予想図

